

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

悲
愴

チャイコフスキー

《土日の午後を彩る名曲選》
心を揺さぶる重厚なサウンド
涙を誘う哀愁のメロディ。

研ぎ澄まされた美意識で
カラフルな音色を引き出す世界的名匠
指揮=シルヴァン・カンブルラン (桂冠指揮者)
Conductor= SYLVAIN CAMBRELING (Conductor Laureate)

ベルリオーズ: 序曲「ローマの謝肉祭」作品9
BERLIOZ: Le carnaval romain, op. 9

サン=サーンス: ピアノ協奏曲第2番 ト短調 作品22
SAINT-SAËNS: Piano Concerto No. 2 in G minor, op. 22

チャイコフスキー: 交響曲第6番 ロ短調 作品74 「悲愴」
TCHAIKOVSKY: Symphony No. 6 in B minor, op. 74 "Pathétique"

読売日本交響楽団
第287回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 287

読売日本交響楽団
第287回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series No. 287

2026年 **5月30日** (土) 2026年 **5月31日** (日)
Saturday, 30 May 2026 Sunday, 31 May 2026

各14時開演 東京芸術劇場 コンサートホール
14:00 Tokyo Metropolitan Theatre Concert Hall
SY8,800 AY6,600 BY5,500 CY5,000

お申し込み・お問い合わせ 読響チケットセンター 0570-00-4390 (10時~18時 年中無休)

学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合がございます。■ご購入いただいたチケットは、キャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

<https://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催: 東京芸術劇場 (公益財団法人東京都歴史文化財団)

ルービンシュタイン国際コンクール優勝
欧州で注目を浴びるポーランドの気鋭
ピアノ=シモン・ネーリング
Piano = SZYMON NEHRING

“色彩の魔術師”が 描き出す《悲愴》の情景 気鋭ネーリングが煌びやかな音色を奏でる！



シモン・ネーリング (ピアノ)
SZYMON NEHRING, Piano

ポーランドで最も才能のある、期待のピアニストの一人。2017年にルービンシュタイン国際ピアノコンクールで優勝。15年にクリスチャン・ツィメルマン奨学金を授与される。同年のショパン国際コンクールではファイナリストとなり、聴衆賞などを受賞。これまでに、ワルシャワ・フィル、イスラエル響、バンベルク響などと共演し好評を博す。19年にはオルフェウム財団に招待され、チューリヒ・トーンハレ管と共演。25年1月にはカンブルラン指揮ハンブルク響と共演し絶賛された。22年、23年そして今年1月にもリサイタルで来日を果たし、大きな話題を呼んだ。読響初登場。



シルヴァン・カンブルラン (指揮)

SYLVAIN CAMBRELING, Conductor

色彩豊かな音楽作りで、読響を世界のトップレベルへと導いた名匠。1948年フランス・アミアン生まれ。2010年から9年間、読響常任指揮者を務め、幅広いレパートリーを演奏し、高い評価を得た。19年4月から桂冠指揮者の任にある。バーデン・バーデン&フライブルクSWR響の首席指揮者、ベルギー王立モネ歌劇場、フランクフルト歌劇場、シュトゥットガルト歌劇場の音楽総監督などを歴任。ザルツブルク音楽祭、ルール・トリエンナーレなど世界最先端の音楽祭で活躍。現在、ハンブルク響の首席指揮者などを務めている。読響とは17年にサントリ音楽賞、22年に文化庁芸術祭大賞を受賞した。

©読響

初夏の休日を彩る5月《土曜・日曜マチネーシリーズ》では、ベルリオーズ、サン＝サーンス、チャイコフスキーの作品による充実したプログラムをお届けします。指揮は、読響と数々の名演を繰り広げている“色彩の魔術師”カンブルラン。熟達したそのタクトは、オーケストラから色とりどりの音色を引き出すでしょう。

メインに据えるのはチャイコフスキーが生涯の最後に完成させた交響曲第6番「悲愴」。時代を超えて愛される不朽の名作です。そのメランコリックな音楽性は、チャイコフスキーが作曲中に涙を流したというほど。人生への別れを描写するようなフィナーレは、静かにゆっくりと、しかし確信を持って演奏されます。静寂の中から現れる神秘的なトロンボーン旋律に誘われて天上へと向かい、ぱたりと幕を閉じます。洗練された美的感覚を持つカンブルランが浮き彫りにする儂くも美しい世界にご期待ください。

前半にはポーランド出身のネーリングが登場。ルービンシュタイン国際ピアノコンクールで優勝した気鋭のピアニストです。披露するのは、サン＝サーンスのピアノ協奏曲第2番。緻密に計算された構造美と独奏ピアノの超絶技巧が特徴的な作品です。ネーリングは、高い技術力とピュアな感性を存分に発揮し、この難曲を鮮やかに弾きこなします。2025年1月にハンブルクで共演を果たしたカンブルランとの息の合ったコンビネーションにもご注目ください。

1曲目に演奏するのは、フランスの作曲家ベルリオーズの序曲「ローマの謝肉祭」。1838年に初演された自作のオペラから主要な旋律を引用し、再度序曲に書き直した作品です。この序曲の初演は大好評を博し、それ以来たびたび焦点が当たるベルリオーズの傑作と言われています。カンブルランはフランス音楽に精通した本流のマエストロ。この作品の魅力を最大限に引き出し、輝かしい真価を発揮します。

読売日本交響楽団 第287回 土曜マチネーシリーズ

2026年 **5月30**日(土) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

読売日本交響楽団 第287回 日曜マチネーシリーズ

2026年 **5月31**日(日) 14時開演
S ¥8,800 / A ¥6,600 / B ¥5,500 / C ¥5,000

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋) 東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel.03-5391-2111
●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

■学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。【既読カード】東京芸術劇場には一時託児サービスがあります(公演1週間前までに予約)。株式会社明日香0120-165-115(予約受付:平日9時-17時) ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。■ご購入いただいたチケットは、公演が中止になった場合以外でのキャンセル・払い戻しはできません。あらかじめご了承ください。■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読響チケットWEB <https://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料



プレイガイド

チケットぴあ <https://t.pia.jp/>

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296